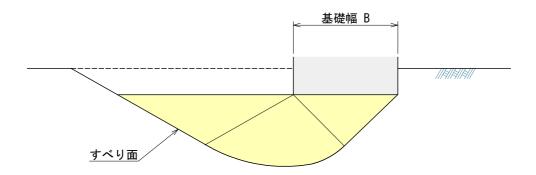
水平地盤の支持力計算(道路橋示方書Ⅳ下部構造編)

by 洋洋@CIVILTEC Ver3.0 (2015/4/19)



①本計算ソフトについて

本ソフトは、荷重の偏心傾斜、支持力係数の寸法効果を考慮した基礎底面地盤の極限支持力を、「道路橋示方書・同解説・下部構造編(H24.3)」に記載された支持力公式を用いて計算するものです。

算式の詳細については「道路橋示方書・同解説・下部構造編(H24.3)」p.297~p.307を参照下さい。

②本計算ソフトの使用法

- ・[地盤の支持力計算]シートを用いて下さい。
- ・黄色セルを全て入力して下さい。
- 薄緑色セルは、リストから選択して下さい。
- ・黄色セルと薄緑色セル以外には算式が埋め込まれています。 誤入力により算式の書き換えや消去を防ぐために、セルには保護を掛けています。 必要に応じて解除して下さい。

③本計算ソフトの動作環境

当ソフトは、マクロ付きExcelブック形式で配布しています、(拡張子: xlsm) 利用できるエクセルのバージョンは、Excel 2007以降となります。(Excel 2007/2010/2013)

当ソフトに関する、要望、質問、不具合報告などは下記のメールアドレまでお願いします。

Mail: soft@civiltec.co.jp http://www.civiltec.co.jp/

地盤の支持力計算

適用基準:道路橋示方書・同解説・Ⅳ下部構造編(平成24年3月)

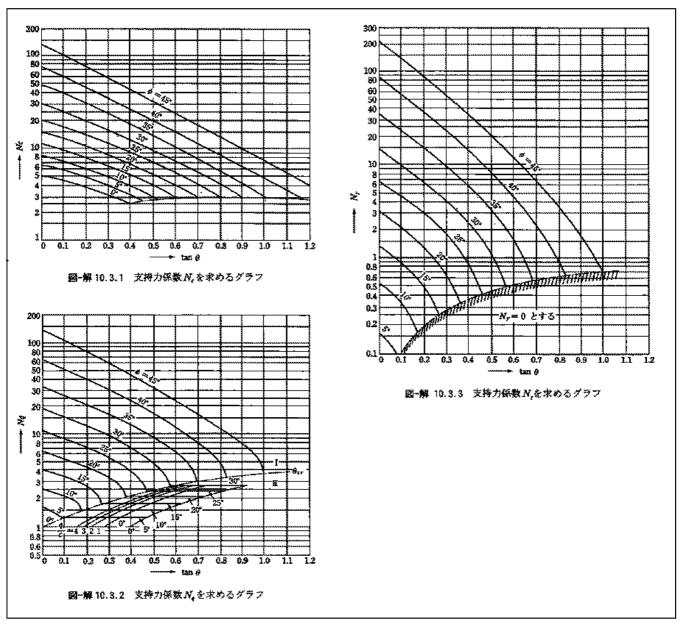
_週用基準: 旦路橋 示力書•同解說•Ⅳ 下部構造編(平成24年3月 <i>)</i>									
計算書タイトル 計算例									
計算条件項目			記号	単位	数值	備	考		
サ歴ウェック	水平荷重		ΣΗ	kN	1,050.000				
基礎底面への 作用荷重条件 	鉛直荷重		Σ٧	kN	3,500.000				
	荷重の偏心量		е	m	1.000				
基礎形状条件	基礎底面の形状		Туре	_	長方形				
	基礎底面幅		В	m	4.500				
	基礎底面長		D	m	10.000				
	荷重の傾斜		tan $ heta$	-	0.300	$\tan \theta = 2$	ΣΗ/ΣV		
	偏心考慮した有効幅		Be	m	2.500	Be = 1	B - 2e		
	有効載荷面積		Ae	m [‡]	25.000	Ae = I	Be × D		
基礎底面より 下方の地盤条件 (支持地盤)	単位体積重量		γ1	kN/m³	19.000				
	—————————————————————————————————————		С	kN/m [*]	10.000				
	内部摩擦角		φ	度	30.000				
基礎底面より 上方の地盤条件 (根入れ地盤)	層1	単位体積重量	γ ₂₋₁	kN/m³	19.000				
		層厚	Df ₂₋₁	m	1.000				
	層2	単位体積重量	γ 2-2	kN/m³					
		層厚	Df ₂₋₂	m					
	層3	単位体積重量	γ ₂₋₃	kN/m³					
		層厚	Df_{2-3}	m					
	計	層厚	ΣD_{f2}	m	1.000				
上載荷重合計	q=Σ(γ2•Df2)		q	kN/m²	19.000				
支持地盤への根入れ深さ			Df	m	1.000	根入れ効果	果の算定用		
地盤の 極限支持力度 計算条件	支持力安全率		Fs	-	3.0				
	支持力係数		Nc	_	16.10	「道路橋示方書・同解説 IV 下部構造編」の図-解10.3.1、 図-解10.3.2、図-解10.3.3より			
	支持力係数		Nq	-	9.29				
	支持力係数		Nr	-	4.26				
	形状係数		α	_	1.075	α=1+0.3•Be/D			
			β	_	0.900	β=1-0.	6•Be/D		
			Be/D	-	0.250				
	根入れ効果に対する 割増係数		割増の有無		行なう				
			к	_	1.120	κ = 1+0.	3•Df'/Be		
	寸法効果に 関する 補正係数		Sc=(C*) ^{-1/3}		1.00	C*=C/10	1≦C*<10		
			Sq=(q*) ^{-1/3}		0.81	q*=q/10	1≦q*<10		
			Sr=(B*) ^{-1/3}		0.74	B*=Be/1.0	1≦B*		
計算結果									

計算結果

項目	記号	単位	数值	備考
地盤の極限支持力 Qu =Ae {α·κ·C·Nc·Sc+κ·q·Nq·Sq + 1/2·γ ₁ ·β·Be·Nr·Sr}	Qu	kN	10,533.911	
地盤の許容支持力 Qa=Qu/Fs	Qa	kN	3,511.304	
設計鉛直荷重	Σ٧	kN	3,500.000	
判定	Qa ≧ ΣV		0	

支持地盤の許容鉛直支持力の計算

```
Qa= Qu / Fs
           = 10,533.911 / 3.00
                  3,511.304 (kN/m^2)
= 25.000 (1.075 \times 1.12 \times 10.000 \times 16.1 \times 1.00 + 1.12 \times 19.000 \times 9.3 \times 0.81
                            + 1/2 \times 19.00 \times 0.900 \times 2.500 \times 4.3 \times 0.740)
           = 25.000 (193.844+ 160.130 + 67.383)
                 10,533.911 (kN/m²)
                ここに、Qu:荷重の偏心傾斜を考慮した極限支持力度(kN)
                        Qa:基礎底面地盤の許容鉛直支持力(kN)
                        Be: 荷重の偏心傾斜を考慮した基礎有効幅(m)
                                 Be= B-2e= 4.500-2 \times 1.000
                                        2.500 (m)
                        Ae: 荷重の偏心傾斜を考慮した有効載荷面積 (m))
                                 Ae = Be \times D = 2.500 \times 10.000
                                   = 25.000
                      α、β: 基礎の形状係数
                                 \alpha = 1+0.3 • Be/D = 1+0.3 • 2.500/10.000
                                       1.075
                                 \beta = 1-0.4 \cdot Be/D = 1-0.4 \cdot 2.500/10.000
                                   = 0.900
                                         2.500/10.000=
                              Be/D=
                                     Be/D>1の場合, Be/D=1とする。
                         L:基礎の長さ=10.000 (m)
                        C:支持地盤の粘着力 =10.000 (kN/m)
                        q : 上載荷重 (= Σ γ ,• Df<sub>2</sub>) (kN/m³)
                                 q = 19.000 (kN/m^2)
                        ア2: 根入れ地盤の単位体積重量 (kN/m³)
                        γ<sub>1</sub>: 支持地盤の単位体積重量 (kN/m<sup>3</sup>)
                         κ: 根入れ効果に対する割り増し係数
                                 \kappa = 1+0.3 \cdot Df'/Be
                                   = 1+0.3 • 1.000/2.500 = 1.120
                  Nc,Nq,Nr:支持カ係数(道路橋示方書、支持カ係数グラフより)
                                      16.10
                                Nc =
                                Nq =
                                        9.29
                                Nr =
                                        4 26
                            基礎に作用する荷重の傾斜角(\theta)
                                  \theta = \tan^{-1}(\Sigma H/\Sigma W)=\tan^{-1}(1050.000/3500.000)
                                       16.70(度)
                              \tan \theta =
                                        0.30
                   Sc,Sq,Sr:支持力係数の寸法効果に対する補正係数
                                Sc = (C^*)^{\lambda} = (C/10)^{-1/3}
                                   = 1.000
                                Sq = (q^*)^{\nu} = (q/10)^{-1/3}
                                   = 0.807
                                 Sr = (B^*)^{\mu} = (Be/1.0)^{-1/3}
                                   = 0.737
```



支持力係数を求めるグラフ(道路橋示方書・同解説・IV下部構造編、p.302、p.303)